

環境科学院／農学院環境資源学専攻  
GCOE-RA成果発表会プログラム  
GCOE-RA Presentation on Research Results”

開催場所: 地球環境科学研究所D棟201  
Place: Room D201, Faculty of Environmental Earth Science  
開催日程: 2012年12月26日 13:00-16:05  
Date & Time : December 26th, 2012, 13:00-16:05

12月26日スケジュール (Schedule)

- ★ 13:00-14:30 説明時間 A (Explanation time A)
- ★ 14:30-16:00 説明時間 B (Explanation time B)
- ★ 16:00-16:05 講評 (Closing address)

GCOE-RAポスター発表一覧

説明時間 (A 13:00-14:30, B 14:30-16:00)

Explanation time ( A 13:00-14:30 blue character, B 14:30-16:00, black character)

展示番号 Number	発表者 / Presenter	研究タイトル / Title
P01	森 佳祐(環境起学専攻:D1)	異常高温イベントにおける積雪の効果と気候変動が与える影響
P02	Devon Dublin(環境起学専攻:D1)	Towards a Sustainable Samani Town: By the people and for the people.
P03	Md. Shariful Islam(環境起学専攻:D2)	Phytoremediation of Heavy metals from Water Environment
P04	Adavan Kiliyankil Vipin(環境起学専攻:D2)	Encapsulation of Prussian blue in cross-linked alginate vesicles and applications in elimination of radioactive elements from contaminated water.
P05	小野 智郁(環境起学専攻:D2)	市場経済化後のモンゴル牧畜社会における生業と土地利用形態に関する地理学的研究
P06	Runa Masuma(環境起学専攻:D2)	Development of method for risk assessment of chemical contaminant on organism using PC12 cell system: Medicinal Plant
P07	田中 朱美(環境起学専攻:D2)	北海道におけるモデルの不確実性を考慮した気候変動の影響評価
P08	保要 有里(環境起学専攻:D3)	ナガバノモウセンゴケの生態特性 ～絶滅への陥りやすさを規定する要因は何か
P09	遠藤 寿(環境起学専攻:D3)	CO2濃度の増加が海洋植物プランクトンの光合成生理機能に及ぼす影響の評価
P10	渡邊 武志(環境起学専攻:D3)	アジアモンスーン域内の気象変動と亜熱帯域の気象変動の関係
P11	孫 永琨(環境起学専攻:D3)	エビジェネチックな変化を指標とする内分泌攪乱化学物質及びナノ材料のヒトの次世代の新規影響評価系構築
P12	金子 賢介(環境起学専攻:D3)	紅藻ウラボシ由来の付着阻害物質 laurencin の生合成解析
P13	Ambarish Pokhrel(地球圏科学専攻:D1)	Chemical composition of organic aerosols: dicarboxylic acids and related compounds over Himalaya belts of Nepal
P14	谷口 央(地球圏科学専攻:D1)	高解像度海洋モデルによる南大洋暖水化メカニズムの解明
P15	大藪 幾美(地球圏科学専攻:D1)	グリーンランドNEEM氷床コアに含まれる不揮発性微粒子の化学組成
P16	漢那 直也(地球圏科学専攻:D1)	海水内の微量元素が植物プランクトンに利用されるメカニズムの解明
P17	對馬 あかね(地球圏科学専攻:D1)	アラスカ・オーロラピークアイスコアの化学解析による環境復元
P18	池川 慎一(地球圏科学専攻:D1)	金星雲頂における風速推定の研究
P19	杉立 卓治(地球圏科学専攻:D2)	気候監視のための高層気象観測用水蒸気センサの開発
P20	藤吉 麗(地球圏科学専攻:D2)	土壌・植物の窒素同位体比を用いた水分環境傾度に沿った窒素動態解析
P21	森 文洋(地球圏科学専攻:D2)	PIVを用いた接地境界層における乱流構造の把握
P22	三原 草介(地球圏科学専攻:D2)	理想的な設定による海洋GCMにおける亜熱帯反流の季節変動に関する研究
P23	柏瀬 陽彦(地球圏科学専攻:D2)	極域における海氷生産と気候変動との関係についての研究
P24	杉本 風子(地球圏科学専攻:D2)	南極昭和基地周辺海域において電磁誘導法より観測された海水厚の経年変動の解明
P25	松田 淳二(地球圏科学専攻:D3)	高解像度海洋海水モデルを用いたオホーツク海・北太平洋の熱塩循環システムの研究

**環境科学院／農学院環境資源学専攻  
GCOE-RA成果発表会プログラム  
GCOE-RA Presentation on Research Results”**

開催場所: 地球環境科学研究院D棟201  
Place: Room D201, Faculty of Environmental Earth Science  
開催日程: 2012年12月26日 13:00-16:05  
Date & Time : December 26th, 2012, 13:00-16:05

12月26日スケジュール (Schedule)

- ★ 13:00-14:30 説明時間 A (Explanation time A)
- ★ 14:30-16:00 説明時間 B (Explanation time B)
- ★ 16:00-16:05 講評 (Closing address)

**GCOE-RAポスター発表一覧**

説明時間 (A 13:00-14:30, B 14:30-16:00)  
Explanation time ( A 13:00-14:30 blue character, B 14:30-16:00, black character)

展示番号 Number	発表者 / Presenter	研究タイトル / Title
P26	野坂 裕一(地球圏科学専攻:D3)	春季親潮珪藻ブルームにおける透明細胞外重合体粒子 (TEP) 生産の特徴とその支配要因の解明
P27	福田 武博(地球圏科学専攻:D3)	溢流水河の短期流動変化とそのメカニズムの解明
P28	佐伯 立(地球圏科学専攻:D3)	海水と内部波の相互作用によるアイスバンドの形成機構
P29	高 宛愉(生物圏科学専攻:D1)	音響計測手法を用いたタチウオの資源量モニタリング
P30	渡邊 友浩(生物圏科学専攻:D2)	淡水湖沼の脱窒硫酸化細菌の生理生態学的研究
P31	山本 圭一(生物圏科学専攻:D2)	淡水サケ科魚類を対象としたバイオリンギング・バイオレメトリ手法を複合した行動追跡および行動評価手法の構築研究
P32	藤沼 潤一(生物圏科学専攻:D3)	半島マレーシア熱帯丘陵林でのタケ類の生態および森林伐採に対する応答
P33	川内 陽平(生物圏科学専攻:D2)	餌生物転換期におけるスケトウダラ稚魚の分布と生残に影響を与える環境要因の解明
P34	油田 照秋(生物圏科学専攻:D3)	つがい外父性に注目したシジュウカラの繁殖生態と適応的機能
P35	福永 直人(環境物質科学専攻:D1)	PEG修飾半導体性クラスターの集合体形成機構の解明と応答性機能材料への応用
P36	高橋 真(環境物質科学専攻:D1)	単一分子精度での機能性固体表面構造の制御に関する研究
P37	井上 実行(環境物質科学専攻:D2)	新規分子認識キトサン誘導体の合成およびレクチン認識評価
P38	齋藤 亮介(環境物質科学専攻:D2)	シクロデキストリン単分子層を鋳型として用いた白金ナノ構造電極の構築と電極触媒活性
P39	柴田 昌幸(環境物質科学専攻:D2)	Hachijojimallene Aの全合成研究
P40	亀井 優太郎(環境物質科学専攻:D2)	サブナノ金属クラスターのライブラリ構築と機能性材料の開発
P41	山木 邦亮(環境物質科学専攻:D2)	Pdおよび2元系Pd電極上の硝酸イオンとその関連化合物の吸着状態解析
P42	三浦 裕紀(環境物質科学専攻:D3)	機能性分子団を導入したヘテロポリアニオンの規則的集積化による高機能酸化物の創製
P43	佐藤 祐輔(環境物質科学専攻:D3)	フェロセン末端単分子層修飾炭素電極を用いた新規ハイブリッドキャパシタの開発
P44	福原 克郎(環境物質科学専攻:D3)	金属錯体を基盤とした従来多孔性材料を凌駕する革新的CO2吸着分離材料の開発
P45	山中 聡(環境資源学専攻:D1)	土地利用変化に伴う生物分布の将来予測:人為活動の退行がもたらす影響の把握
P46	藪原 佑樹(環境資源学専攻:D1)	河川氾濫原の景観変化に伴う鳥類群集の変化の広域スケールでの解明
P47	曾我 昌史(環境資源学専攻:D1)	急速な都市化とタイムラグを伴う蝶類の衰退: Extinction Debt (絶滅の負債) の検証
P48	Xiaona WANG(環境資源学専攻:D1)	Species richness of ectomycorrhiza types with different nitrogen loads on three larch species grown under two phosphorous levels in immature volcanic ash soil
P49	石山 信雄(環境資源学専攻:D3)	氾濫原生態系における止水域の相対的重要性と保全への提言: 景観の連結性およびβ多様性に着目して
P50	末吉 正尚(環境資源学専攻:D3)	出水攪乱と農地利用が河川底生動物に及ぼす相互作用効果 - 群集動態と遺伝子データからのアプローチ -